

令和8年2月27日改訂



(Defense Security Gateway)

防衛セキュリティゲートウェイサービス利用要領

(加入企業の保護システム管理者及び 利用者向け)

防衛装備庁長官官房総務官付情報システム管理室

目次

1. 使用する用語	2
2. サービスの概要	4
3. 利用の要件	8
4. 利用の手続き	9
5. 利用申請内容の変更	12
6. その他の申請等	13
7. 禁止事項	15
8. 利用者の報告義務	17
9. お問い合わせ先	18
(別紙第1) 防衛セキュリティゲートウェイサービス一覧	19
(別紙第2) 保護情報共有サービスで使用できないデータ形式	...	22

1. 使用する用語

この要領で使用する主な用語の定義は次のとおりです。

#	用語	定義
1	防衛セキュリティゲートウェイ	装備品等及び役務の調達における情報セキュリティの確保について（防装庁（事）第137号。令和4年3月31日。以下「情報セキュリティ調達」という。）第2項第1号に規定する保護すべき情報を、防衛省と当該契約を履行する防衛関連企業の間で、電子データの形で共有することを可能とする通信基盤をいう。
2	防衛セキュリティゲートウェイサービス	防衛装備庁との契約に基づき、事業者が提供するサービスをいう。
3	利用者	防衛セキュリティゲートウェイサービスを利用する者をいう。
4	加入企業	防衛セキュリティゲートウェイサービスを利用する防衛関連企業をいう。
5	装備品等及び役務の調達における情報セキュリティ基準	契約に基づき企業において取り扱われる「保護すべき情報」の管理に適用するため、情報セキュリティ対策、組織的セキュリティ対策、物理的セキュリティ対策などの対策を網羅的に定めたものであり、「装備品等及び役務の調達における情報セキュリティの確保に関する特約条項」が付された契約を締結した防衛関連企業にたいし、対策の実施を求める根拠となる基準をいう。
6	保護システム管理者	装備品等及び役務の調達における情報セキュリティ基準第5第2項第2号イ（ア）に規定する保護システム管理者をいう。
7	データ管理責任者	利用者が作成したデータ又はフォルダの削除権限を持つ防衛関連企業の責任者をいう。
8	サービス提供事業者	防衛セキュリティゲートウェイサービスを提供する事業者をいう。

#	用語	定義
9	保護情報共有サービス	利用者間でのデータ閲覧及びデータ共有を行うことを目的として、防衛省との契約に基づく事業毎に利用者がアクセス可能な領域を作成し提供するサービスをいう。
10	フォルダ	保護情報共有サービスの領域中、第2階層に所在するライブラリ（第1階層に作成される領域をいう。）の中に作成される個別のフォルダをいう。
11	利用端末	防衛セキュリティゲートウェイサービスを利用するための電子計算機端末をいう。

2. サービスの概要

① サービスの種類

防衛セキュリティゲートウェイサービスが提供するサービスは次のとおりです。

それぞれのサービスの詳細は別紙第 1 をご参照ください。

● データ管理サービス

保護情報共有サービス / アカウント管理サービス / 多要素認証サービス

● セキュリティサービス

ファイアウォールサービス / マルウェア対策サービス / 脅威検知サービス
/ 脆弱性監査サービス / 構成管理サービス / データ消去サービス

● NOC・SOCサービス

NOCサービス / SOCサービス

● ヘルプデスクサービス

● 加入支援サービス

● 基本基盤サービス

回線・ルータ利用サービス / 仮想化基盤サービス / ストレージ利用サービス / バックアップサービス / セキュリティパッチ配信サービス / DNSサービス / NTPサービス / ログ分析サービス / 情報提供サービス / コミュニケーションサービス / モバイル接続サービス

② サービスの提供時間（基本）

#	サービス名称	提供時間
1	データ管理サービス	24時間365日
2	セキュリティサービス	24時間365日
3	NOC・SOC サービス	24時間365日
4	ヘルプデスクサービス	(チャットボット) 受付、対応とも24時間365日 (電子メール) 受付は24時間365日、対応は平日9時～18時 (電話) 受付、対応とも平日9時～18時
5	加入支援サービス	(申請書格納) 24時間365日 (電子メール) 受付は24時間365日、対応は平日8時30分～17時15分 (電話) 受付、対応とも平日8時30分～17時15分
6	基本基盤サービス	24時間365日

③ サービス利用に係る基本的事項

- (1) 防衛セキュリティゲートウェイサービスで取り扱う情報は、保護すべき情報以下の情報とします。なお、装備品等及び役務の調達における情報セキュリティ基準に基づき、保護情報共有サービスを除く他のサービス上で保護すべき情報を取扱ってはなりません。

- (2) 利用者は、予め登録（利用端末の登録申請：加入要領を参照）した利用端末により、防衛セキュリティゲートウェイサービスを利用するものとします。
- (3) 利用者間の情報共有を行うための保護情報共有サービスは、「装備品等及び役務の調達における情報セキュリティの確保に関する特約条項」が付帯された契約又は「[装備品等及び役務の調達における情報セキュリティの確保について（通達）](#)」第8項の各号に該当する調達であって、「装備品等及び役務の調達における情報セキュリティの確保に関する特約条項」の適用除外となる契約の締結を前提に、当該契約の契約期間内を利用期間とします。
- (4) 利用者は、利用期間の終了後、引き続き設けられる14日間（土日祝日を含まない。）のデータ整理期間において、防衛セキュリティゲートウェイ上に保存するデータについて、移動、削除等の整理を確実に行ってください。データ整理期間終了後は防衛セキュリティゲートウェイの領域の全てのデータにアクセスが出来なくなります。
- (5) 保護情報共有サービスにおいては、契約毎に防衛セキュリティゲートウェイ上に固有の領域が設定され、この領域において利用者間での情報共有を行うものとします。

なお、当該領域には、利用者登録・削除申請書（以下、利用申請書という。）提出時における契約相手方等の契約履行体制に応じ、適切な

アクセス権限を設定した規定のフォルダを標準として提供します。利用者は、既定のフォルダ内に任意でフォルダを作成することができますが、作成したフォルダのアクセス権限は、原則として当該フォルダが所属するフォルダと同一となります。

- (6) フォルダ内のデータは次項に示すデータ管理責任者を除き閲覧のみとします。編集等が必要な場合は、利用端末内の保存領域にダウンロードしてから行うなど、防衛セキュリティゲートウェイの領域以外で行うものとします。
- (7) 利用者が作成したデータ又はフォルダの削除権限を、利用申請書で指定のあったデータ管理責任者のみに付与します。削除にあたっては、加入企業は調達要求元との調整後、加入企業のデータ管理者の責任において削除を実施することができます。
- (8) 保護情報共有サービスで取り扱うことのできないデータの形式（拡張子）があります。詳細は別紙第 2 をご参照ください。
- (9) 利用者には、契約毎・利用者毎に固有のアカウント及びパスワードが付与されます。
- (10) 保護情報共有サービスを利用して取り扱うデータは、利用者の責任において、適切に管理を行ってください。

3. 利用の要件

防衛セキュリティゲートウェイサービスの利用に当たっては、次の3つの要件を全て満たす必要があります。

#	要件
1	防衛セキュリティゲートウェイサービスへの加入が完了していること。 (加入プロセスにおいて、最終現地確認後に情報システム管理室から発効される「加入完了通知書」を受領していること。)
2	中央調達か地方調達かに関わらず、装備品等及び役務の調達における情報セキュリティの確保に関する特約条項が付された契約又は 情報セキュリティ調達第8項の各号に該当する調達 であって、「装備品等及び役務の調達における情報セキュリティの確保に関する特約条項」の適用除外となる契約の締結に伴い、当該契約の履行に従事することが決定していること。
3	調達要求元（事業元）及び加入企業双方が防衛セキュリティゲートウェイサービスを利用することについて合意が得られていること。

4. 利用の手続き

防衛セキュリティゲートウェイサービスの利用を希望する企業は、利用の要件を全て満たすことを確認の上、次に示す①～④の手続きを行ってください。

参考資料：DSG 広報ホームページ [「申請に係る手順とメールテンプレート」](#)

	プロセス	概要	実施者	企業の立ち合い要否
利用申請	① 利用申請書の提出	申請書様式の提出 ※利用について調達要求元と事前調整要	防衛関連企業	
	② アカウント情報及びパスワードの付与	利用申請書内容の確認後、アカウント情報等をパラメータシートとして提供	サービス提供事業者	
	③ 生体認証登録（静脈認証登録）	アカウント付与者による生体認証登録	防衛関連企業	●
利用開始	④ 利用の開始			

① 利用申請書の提出

保護システム管理者は、防衛装備庁ホームページに掲載された利用申請書の様式に必要な事項を記載し、提出してください。

【提出する書類】

- ・ 防衛セキュリティゲートウェイサービス利用者登録・削除申請書

【提出要領】

提出書類一式を E x c e l 形式で作成し、防衛セキュリティゲートウェイポータルサイトの「申請書等格納サイト」に格納の上、下記の電子メールアドレスに、資料を格納した旨を連絡してください。

送付先電子メールアドレス：contact-dsgapply@cs.jp.fujitsu.com

【留意事項】

- (1) 利用申請書は、契約毎に提出してください。
- (2) 利用申請書の提出は、契約締結日以降に行ってください。
- (3) 利用者は、保護すべき情報の取扱者として取扱者名簿により防衛省に届出がされている者及び保護システム利用者名簿に登録されている者でなければなりません。（事業元において確認を行います。）
- (4) 下請負企業がサービスを利用する場合、元請負企業は、下請負企業の利用申請書を取りまとめて提出するものとします。



② アカウント情報及びパスワードの付与

利用申請書が受理され、その記載内容を事業元が確認したのち、サービス提供事業者からアカウント情報等が付与されます。

【アカウント情報等の受領】

保護システム管理者に対し、サービス提供事業者が利用申請書に基づき作成したアカウント情報を「パラメータシート」として送付します。送付は防衛セキュリティゲートウェイポータルサイトの「申請書等格納サイト」への格納により行います。（格納後、サービス提供事業者から保護システム管理者に対し、電子メールで連絡を行います。）

下請負企業のアカウント情報等については、当該下請負企業が「申請書等格納サイト」に拠点の固有フォルダを有する場合は、当該フォルダ及び元請負企業のフォルダにサービス提供事業者が格納します。当該下請負企業が固有フォルダを有しない場合は、元請負企業のフォルダのみにサービス提供事業者が格納します。（この場合、当該下請負企業への展開・連絡は元請負企業が行ってください。）



③ 生体認証登録（静脈認証登録）

アカウントが付与された利用者であって、防衛セキュリティゲートウェイサービスにログインするために必要となる生体認証（静脈認証）登録が未登録の方は、次の要領で生体認証登録を行ってください。（利用申請書提出時点で既に生体認証登録を完了している方は、再度の登録は不要です。）

- (1) 静脈認証の登録作業は、登録場所（東京都新宿区）に来訪しての登録とリモート（遠隔）による登録のいずれかを選択いただけます。
- (2) 登録者のなりすましを防止するため、遠隔操作による登録においては、登録を行う方のほか、保護システム管理者が立ち会うものとします。（対面の場合は防衛装備庁の職員が立ち会います。）
- (3) 遠隔操作にて登録を行う方は、利用端末に内蔵又は接続されたWebカメラの前で写真付き身分証明書を提示して本人確認を受けた後、登録作業を行うものとします。
- (4) 証跡の記録の観点から、本人確認時のキャプチャした画像を情報システム管理室が管理します。
- (5) 登録を行う方は、前各号の実施（登録を行う方の個人情報の取得を含む。）について、利用申請書の提出時に同意するか否かを明確にしなければなりません。



④ 利用の開始

上記②で送付されたパラメータシートに記載された、URLを入力して防衛セキュリティゲートウェイサービスのトップページにアクセスしてください。

使用するブラウザは、Microsoft Edge又はGoogle Chromeを推奨します。

※ 利用申請書提出からアカウント情報付与までにおおよそ1週間程度、その後の生体認証登録にも相応の時間が必要ですので、防衛セキュリティゲートウェイサービスを利用したい契約の締結時期に間に合うよう、手続きに要する期間に余裕をもって準備を進めてください。

5. 利用申請内容の変更

防衛セキュリティゲートウェイサービスの利用中、利用申請書の記載内容に変更が生じた場合は、次のとおり変更の手続きを行ってください。

① 変更の申請が必要となる場合

- 利用申請書の記載内容に変更（利用者の追加・削除、利用者個人の登録情報の変更、利用期間の変更等）

② 変更手続き

保護システム管理者は、防衛装備庁ホームページ若しくはマニュアル・様式サイトに掲載された利用申請書の様式（変更申請の様式を兼ねています。）に必要な事項を記載し、提出してください。

【提出する書類】

- ・ 防衛セキュリティゲートウェイサービス利用者登録・削除申請書
- ・ 必要な場合、変更内容を証する書類

【提出要領】

提出書類一式を E x c e l 形式で作成し、防衛セキュリティゲートウェイポータルサイトの「申請書等格納サイト」に格納の上、下記の電子メールアドレスに、資料を格納した旨を連絡してください。

送付先電子メールアドレス : contact-dsgapply@cs.jp.fujitsu.com

【その他】

変更内容に応じて、情報システム管理室又はサービス提供事業者から必要な対応や提出する書類を依頼することがあります。

6. その他の申請等

利用中、必要な場合は、以下に示す申請等も行ってください。

① アクセス権限の設定等

保護システム管理者は、利用者が契約毎に設定された領域に作成したフォルダについて、そのアクセス権限を変更したい場合は、防衛装備庁 HP 若しくはマニュアル・様式サイトにあるアクセス権限設定申請書に必要事項を記入の上、防衛セキュリティゲートウェイ上の指定された申請書提出用フォルダに格納するとともに、指定する電子メールアドレスに格納した旨を連絡してください。

なお、下請負企業に係る申請については、元請負企業が取りまとめて行ってください。

【提出する書類】

- ・ アクセス権限設定申請書

【提出要領】

提出書類一式を E x c e l 形式で作成し、防衛セキュリティゲートウェイポータルサイトの「申請書等格納サイト」に格納の上、下記の電子メールアドレスに、資料を格納した旨を連絡してください。

送付先電子メールアドレス： contact-dsgapply@cs.jp.fujitsu.com

【その他の手続】

利用者が作成したフォルダについて、フォルダの削除又はフォルダ名を変更する場合は、保護システム管理者は変更の内容を明らかにした上で、お問い合わせフォームよりヘルプデスクに依頼してください。

依頼時のお問い合わせフォームに記載する内容（基準）

理由： 例）ファイル名称を誤認する可能性が高いため、名称を変更し、あらためて格納するもの

会社名：

事業名：

D S G 利用管理番号：

当該サイト名：

削除対象フォルダ/ファイル：

申請者：氏名

保護システム管理者：氏名

対応希望日：

② 可搬記憶媒体の登録・削除申請

保護システム管理者は、利用端末においてU S Bメモリや内蔵を含む光学ドライブ等の可搬記憶媒体の使用を希望する場合、以下に示す要領で、可搬記憶媒体登録・削除申請書を提出し、使用許可を得てください。

【提出する書類】

- ・ 可搬記憶媒体登録・削除申請書

【提出要領】

提出書類をE x c e l形式で作成し、次のいずれかの方法で提出してください。

- 防衛セキュリティゲートウェイポータルサイトの「申請書等格納サイト」に格納の上、下記の電子メールアドレスに、資料を格納した旨を連絡する。
- 電子メールにて電子メールアドレスに送付する。（申請書等格納サイトへの格納ができない場合に限る。）

なお、電子メールにて提出する場合、加入申請書の提出に準じてパスワード設定及び連絡を行ってください。

送付先電子メールアドレス：contact-dsgapply@cs.jp.fujitsu.com

【留意事項】

防衛セキュリティゲートウェイサービスで使用する可搬記憶媒体は、特定可能なシリアルナンバーが付与されているものでなければなりません。

そのため、識別ができない記憶媒体のうち、シリアル管理されていないU S Bメモリ等は使用できません。C D - R O M等については、光学ドライブ（内蔵又は外付け）を登録することにより読み取り／書き出しが可能です。

7. 禁止事項

防衛セキュリティゲートウェイサービスの利用に当たって、以下に記載する事項を禁止します。

#	禁止事項
1	<p><u>【保護すべき情報より機密性の高い秘密区分の情報の取り扱い】</u> 例)</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 秘密電子計算機情報 (秘密保全に関する訓令 (H 1 9 防衛省訓令 3 6 号) 1 4 条 1 項に規定する秘密電子計算機情報)➤ 特定秘密電磁的記録 (特定秘密の保護に関する訓令 (H 2 6 防衛省訓令 6 4 号) 2 条に規定する特定秘密電磁的記録)➤ 特別防衛秘密電子計算機情報 (特別防衛秘密の保護に関する訓令 (H 1 9 防衛省訓令 3 8 号) 1 3 条 1 に規定する特別防衛秘密電子計算機情報)
2	<p><u>【ユーザー I D 及びパスワードの不正利用】</u> 他人のユーザー I D 及びパスワードを用いて防衛セキュリティゲートウェイサービスを利用する行為 又は自身のユーザー I D 及びパスワードを用いて、他人に防衛セキュリティゲートウェイサービスを利用させる行為</p>

#	禁止事項
3	<p data-bbox="379 297 667 336"><u>【その他の禁止行為】</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="405 353 791 392">(1) 公序良俗に反する行為 <li data-bbox="405 409 1166 448">(2) 犯罪行為に結びつく行為又はそのおそれのある行為 <li data-bbox="405 465 1206 504">(3) 法律、条例に違反する行為又はそのおそれのある行為 <li data-bbox="405 521 1334 620">(4) 他の防衛関連企業、利用者及び防衛セキュリティゲートウェイ又は防衛セキュリティゲートウェイサービスを誹謗、中傷する行為 <li data-bbox="405 638 1225 676">(5) 防衛セキュリティゲートウェイサービスの運用を妨げる行為 <li data-bbox="405 694 1318 732">(6) 防衛セキュリティゲートウェイ及び管理組織の信頼を損なう行為 <li data-bbox="405 750 775 788">(7) 情報を改ざんする行為 <li data-bbox="405 806 983 844">(8) 秘密漏えい又はそのおそれのある行為 <li data-bbox="405 862 1350 1019">(9) 防衛セキュリティゲートウェイサービスに接続した電子計算機等の装置を無線、有線等の手段によりインターネットプロバイダ等の部外又は許可されていない情報システムに接続する行為 <li data-bbox="405 1037 1062 1075">(10) ネットワークスキャン、ポートスキャン等の行為 <li data-bbox="405 1093 1158 1131">(11) 利用資格のない電子計算機に対するアクセス行為 <li data-bbox="405 1149 1326 1247">(12) 業務以外の目的による防衛セキュリティゲートウェイサービスの使用 <li data-bbox="405 1265 1350 1364">(13) 保護情報共有サービスを除く他のサービス上での保護すべき情報の取扱い <li data-bbox="405 1382 1334 1480">(14) 利用端末上における保護すべき情報の共有を目的とした共有フォルダの作成 <li data-bbox="405 1498 1350 1597">(15) サービス提供事業者への事前連絡なくドライブ構成を変更する行為 <li data-bbox="405 1615 1222 1653">(16) 上記第1号から第15号の他本要領に違反する行為

8. 利用者の報告義務

利用者は、防衛セキュリティゲートウェイサービスの利用に際し、次に該当する情報に接した場合は、直ちに保護システム管理者を通じて情報システム管理室に報告してください。

- (1) この要領に定められた規定に関する違反が発生し又は発生した恐れがある情報
- (2) 防衛セキュリティゲートウェイサービスの運用に影響を与える可能性のある情報

(連絡先)

防衛装備庁長官官房総務官付情報システム管理室
電話番号：03-3268-3111（内線 32506, 32503, 32501）
メールアドレス：dsg-atla@atla.mod.go.jp

9. お問い合わせ先

防衛セキュリティゲートウェイサービスへの利用に関するお問い合わせは、サービス提供事業者が提示する連絡先又は以下の連絡先にお願いします。

防衛装備庁長官官房総務官付情報システム管理室
電話番号：03-3268-3111（内線 32506, 32503, 32501）
メールアドレス：dsg-atla@atla.mod.go.jp

(別紙第 1) 防衛セキュリティゲートウェイサービス一覧

No.	サービス名	サービスの概要
1	データ管理サービス	
1-1	保護情報共有サービス	利用者間でのデータ共有を行うための領域、ライブラリを提供し、利用端末からファイルを登録して共有する。
1-2	アカウント管理サービス	アカウント管理に関する以下のサービスを提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用のためのアカウントの登録、停止及び削除を行う。 ・アカウントを使用してサービス利用時の認証サービスを提供する。また、ログイン試行が一定回数を超えた場合に自動ロックを実施する。 ・アカウントをグループ管理し、グループ毎に権限を設定する。
1-3	多要素認証サービス	サービス利用のための多要素認証（生体認証及びパスワード認証）を提供し、アカウント管理サービスと連携してユーザーの生体情報の登録及び管理、ログオン履歴の管理を行う。
2	セキュリティサービス	
2-1	ファイアウォールサービス	セキュリティポリシーで通信を制御し、通信の正当性を確保する。また、許可されていない通信を遮断する。
2-2	マルウェア対策サービス	利用端末をマルウェアの脅威から防護するとともに、最新の定義体を配信する。また、許可されていない通信の遮断により被害の拡散を軽減する。
2-3	脅威検知サービス	利用端末において、従来のエンドポイントセキュリティでは防ぎきれない未知の脅威を検知した際にSOCに通知するとともに、該当端末をネットワーク上から隔離し、証跡の保全や原因の特定に必要な解析等を行い、被害の拡散を軽減する。
2-4	脆弱性監査サービス	利用端末の脆弱性監査を実施し、脆弱性の有

No.	サービス名	サービスの概要
		無を確認する。取得した脆弱性監査結果を、必要に応じて加入企業に提供する。
2-5	構成管理サービス	利用端末の端末情報の取得、情報漏えいリスクの高い操作の抑止、操作履歴の取得を行う。取得した端末情報、履歴を、必要に応じて加入企業に提供する。
2-6	データ消去サービス	シャットダウン及び再起動時に加入企業の利用端末のローカルディスク上に残置されたデータを自動的に削除する。また、一定時間操作がなく放置された利用端末を自動的にシャットダウンする。
3	NOC (Network Operation Center) ・SOC (Security Operation Center) サービス	
3-1	NOCサービス	ネットワークオペレーションに関する監視、障害検知、分析、対応、報告、問い合わせ対応、必要な情報提供・情報共有を行う。
3-2	SOCサービス	セキュリティオペレーションに関する監視、セキュリティインシデント検知、分析、対応、通知、問い合わせ対応、必要な情報提供・情報共有を行う。
4	ヘルプデスクサービス	サービス利用に関する問い合わせ窓口（電話、チャットボット）を提供し、FAQの作成・管理等を行う。
5	加入支援サービス	サービスへの加入に関し、以下の支援を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・保護情報共有サイトの作成を支援する。 ・利用者アカウントの登録、更新、削除を行う。 ・サービスに加入するためのセットアップ手順書、利用マニュアル、インストーラーを配布する。 ・ネットワークの開通を支援する。
6	基本基盤サービス	
6-1	回線・ルータ利用サービス	加入企業の拠点とサービスを提供する機器等の設置拠点までの間を専用回線で接続するとともに、専用の通信ルータを提供する。通信を暗号化し、通信内容の秘匿化を行う。また、許可された利用

No.	サービス名	サービスの概要
		端末以外の端末の接続を拒否するとともに、許可した通信以外を遮断する機能を提供する。
6-2	仮想化基盤サービス	各サービスを提供するための仮想化基盤を提供する。
6-3	ストレージ利用サービス	保護情報共有サービス等で保存するデータの格納先となるストレージを提供する。また、保存するデータの暗号化を行う。
6-4	バックアップサービス	機器等のシステムデータ、保護情報共有サービスで提供される領域、アクセスログ等のバックアップを行う。(利用端末のバックアップは対象外)
6-5	セキュリティパッチ配信サービス	OS (オペレーティングシステム) 等のセキュリティパッチを取得し、利用端末に提供する。
6-6	DNSサービス	利用端末向けにドメイン名とIPアドレスを管理し、相互変換を行う。
6-7	NTPサービス	利用端末向けに標準時刻を提供する。
6-8	ログ分析サービス	各種サービスで取得したログを収集、相関分析を行い、セキュリティリスクの検出を行う。
6-9	情報提供サービス	必要に応じ、各種情報 (操作履歴、ログ、脆弱性監査結果等) の提供を行う。
6-10	コミュニケーションサービス	利用端末において、防衛セキュリティゲートウェイ利用者間のコミュニケーションが可能になる機能を提供する。
6-11	モバイル接続サービス	加入企業の拠点とサービスを提供する機器等の設置拠点までの間を専用モバイル回線で接続するとともに、専用の通信ルータを提供する。通信を暗号化し、通信内容の秘匿化を行う。また、許可された利用端末以外の端末の接続を拒否するとともに、許可した通信以外を遮断する機能を提供する。(※6-1 回線・ルータ利用サービスを利用する場合、本サービスは利用できません。)

(別紙第2) 保護情報共有サービスで使用できないデータ形式

拡張子			
.ade	.idq	.mshxml	.vbe
.adp	.ins	.msi	.vbs
.asa	.isp	.ms-one-stub	.vsix
.ashx	.its	.msp	.ws
.asmx	.jse	.mst	.wsc
.asp	.json	.ops	.wsf
.bas	.ksh	.pcd	.wsh
.bat	.lnk	.pif	.xamlx
.cdx	.mad	.pl	.7z
.cer	.maf	.prf	.7zip
.chm	.mag	.prg	.afz
.class	.mam	.printer	.bz2
.cmd	.maq	.ps1	.bzip
.cnt	.mar	.ps1xml	.bzip2
.com	.mas	.ps2	.cab
.config	.mat	.ps2xml	.gz
.cpl	.mau	.psc1	.gzip
.crt	.mav	.psc2	.hqx
.csh	.maw	.pst	.lzh
.der	.mcf	.reg	.rar
.dll	.mda	.rem	.sea
.eml	.mdb	.scf	.sit
.exe	.mde	.scr	.sitx
.fxp	.mdt	.sct	.tar.bz2
.gadget	.mdw	.shb	.tar.gz
.grp	.mdz	.shs	.tar.Z
.hlp	.msc	.shtm	.tbz
.hpj	.msg	.shtml	.tgz
.hta	.msh	.soap	.uu
.htr	.msh1	.stm	.Z
.htw	.msh1xml	.svc	.htm
.ida	.msh2	.url	.html
.idc	.msh2xml	.vb	